

# FSC認証森林からの持続可能な木材調達事業準備調査 (BOPビジネス連携促進)

## BOP Business Profile

- 国・地域:** タンザニア連合共和国 リンディ州キルワ地区等(南部)
- 企業:** ヤマハ株式会社  
楽器の製造・販売事業を中心に、音響機器、電子部品などの幅広い分野の製品を世界各国に展開している。
- ビジネス概要:** 現地NGOと協力して植林や持続的な森林経営を行うとともに、既存の楽器製造技術・販売マーケットを活かした資源の安定利用、材料の利用効率向上の実現を以て、楽器用材料として重要なアフリカン・ブラックウッドの安定的調達及び森林コミュニティの持続的な開発を目指すもの。



### 現地を抱える開発課題

アフリカン・ブラックウッドはタンザニア原産の重要な楽器用材料であるが、成長の遅さに加え、伐出される材積の約90%が製材時に廃棄される利用効率の低さから、**現地での利益が薄く**、乱伐による**資源枯渇も懸念**されている。そのため、アフリカン・ブラックウッドをほぼ唯一の価値資源とするコミュニティでは、その**持続的な管理や利用効率向上が喫緊の課題**となっている。



### 企業が有するソリューション

アフリカン・ブラックウッドを主材料とする木管楽器は、ヤマハの重要な製品群であり、**世界有数の生産台数を誇る**。既に同国から15年以上の木材調達実績を有することから、コミュニティへの安定した需要を見込む。さらに、総合楽器メーカーとしての**独自の技術的ノウハウにより、製造工程の改善や端材の有効利用**といった応用展開が可能である。

## ビジネスを通じた 課題解決アプローチ



コミュニティによる持続的森林経営と国際的な森林認証(FSC認証)材の生産に取り組むNGOと協業して、**トレーサビリティを有したFSC認証材を安定供給する仕組みを構築**する。同時に、ヤマハのノウハウを活用してアフリカン・ブラックウッドの加工・流通・製品化プロセスの見直し・改善を行うことで、**木材の利用率・利益率を向上させ、創出した利益を貧困地域のコミュニティに還元**することを目指す。また、資源管理に加えて、**コミュニティに計画的な植林活動、森林管理活動を導入**することで、新たな雇用を創出しながら将来にわたる良質材の生産を図り、需要と供給の双方において持続性を有した木材調達の仕組みの構築に取り組む。